



新潟医療シンポジウム開催

日本放射線学会の権威である大阪大学の富山教授や
神戸大学の村上教授らによる講演やパネルディスカッション

2024年9月29日(日) ホテルオークラ新潟にて

医療法人メディカルビットバレー（新潟県長岡市）の澁谷裕之理事長は、9月29日(日)に新潟県新潟市のホテルオークラ新潟にて開催される「新潟医療シンポジウム -新潟県民のための高度医療機器の共有、そして画像診断センター設立による新たな価値創造-」にパネリストとして出席します。

■ 医師不足や高度医療体制崩壊の危機など新潟県の医療課題

厚生労働省によると、2022年末時点の医師の数は34万3275人と過去40年で2倍以上に増えている一方、医師の勤務地の偏りによる医師不足は依然大きな社会問題となっています。^{※1} 長年に渡り医師不足の課題を抱える新潟県の医師充足度を示す医師偏在指標では全国45位と低迷している現状です。^{※2} 新潟県の地域医療の底上げと課題解決のため、医療に深い知見をお持ちの皆様にお集まりいただき、ご講演ならびにパネルディスカッションを通じて新潟の地域医療の未来について議論を深めるシンポジウムを開催します。

※1：厚生労働省 令和4（2022）年 医師・歯科医師・薬剤師統計の概況より

※2：厚生労働省 医師偏在指標（都道府県別）（令和6年1月10日更新）より

■ 日本放射線学会の権威である大阪大学の富山教授や神戸大学の村上教授らによる講演

シンポジウムの第一部では新潟県の医療課題に繋がるCT共同利用に関して、大阪大学大学院医学系研究科・医学部放射線統合医学講座 放射線医学 教授である富山憲幸先生をはじめ、神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 放射線医学分野 教授である村上卓道先生よりご講演いただきます。

CTとはComputed Tomography（コンピュータ断層撮影）の略であり、X線を用いて輪切りの画像を撮影する検査です。ドーナツ状の機械の中に対となるようにX線管球と検出器が配置され、それらを回転させて撮影していきます。そして得られたデータを計算して輪切り画像を作成します。CTは検査時間も短く、切ることなく人体内部を観察できる非常に有用な検査装置である一方、高額であるため、導入できるクリニックは限られています。このCTを地域で共同利用することで地域医療にどう貢献できるのか、両教授よりご講演いただきます。

■ 豪華なパネリストによるパネルディスカッション

また第二部では富山先生、村上先生、新潟日報社 執行役員 論説編集委員である大塚清一郎様と、当法人の澁谷理事長を加え、総合司会であるフリーアナウンサーの伊勢みずほ様の体験談も交えたパネルディスカッションを実施します。新潟県の地域医療を支えるために、高度医療機器の共有と、これまで新潟県にはなかった画像診断センター設立の意義についてトークセッションを行います。

新潟医療シンポジウム

新潟県民のための高度医療機器の共同、
そして画像診断センター設立による新たな価値創造

日時： **2024年9月29日（日）13:00～15:00**（12:00開場）

会場： **ホテルオークラ新潟 4階 コンチネンタル**

新潟県新潟市中央区川端町 6-53

申込： **9月22日（日）締切**（定員 200名）

※一般の皆様は下記リンクよりお申込みください。お申込み多数の場合、抽選とさせていただきます。
<https://mbv.or.jp/symposium/>

※取材希望のメディア関係者様は広報担当へ9月22日までに直接ご連絡ください。

総合司会：伊勢 みずほ様（フリーアナウンサー）

◆「開会挨拶」13:00～13:10

シーメンスヘルスケア株式会社 代表取締役社長 櫻井 悟郎

◆「ご来賓挨拶」13:10～13:25

新潟県福祉保健部長 中村 洋心様
新潟市副市長 井崎 規之様
長岡市副市長 高見 真二様

◆「第一部 CT共同利用による地域医療改善」13:25～14:00

演者1：シーメンスヘルスケア株式会社 CT最新技術情報
演者2：大阪大学大学院医学系研究科・医学部 放射線統合医学講座 放射線医学 教授 富山 憲幸先生
演者3：神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 放射線医学分野 教授 村上 卓道先生

◆「ご休憩」14:00～14:10

◆「第二部 地域を超えた、地域医療」パネルディスカッション 14:10～14:55

大阪大学大学院医学系研究科・医学部 放射線統合医学講座 放射線医学 教授 富山 憲幸先生
神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 放射線医学分野 教授 村上 卓道先生
新潟日報社 執行役員 論説編集委員 大塚 清一郎様
医療法人メディカルビットバレー 理事長 澁谷 裕之

◆「閉会挨拶」14:55～15:00

シップヘルスケアホールディングス株式会社 代表取締役会長 古川 國久

【主催】：地域医療シンポジウム実行委員会

【共催】：新潟日報社/BSN新潟放送/クロスウィルメディカル(株)/シップヘルスケアホールディングス(株)/シーメンスヘルスケア(株)

【協賛】：第四北越銀行

■報道各位からのお問い合わせ■

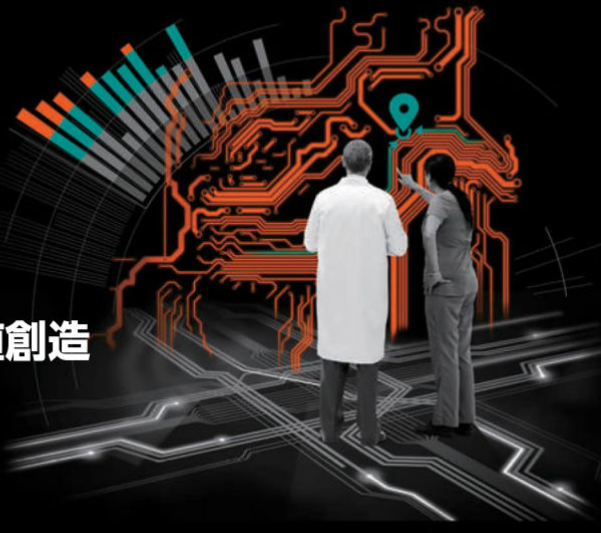
医療法人メディカルビットバレー

広報担当：藤崎

090-5202-8141 / 0258-86-7223

新潟医療シンポジウム

新潟県民のための高度医療機器の共有、
そして画像診断センター設立による新たな価値創造



日時：2024年 9月29日(日) 13:00～15:00 (12:00 開場)

会場：ホテルオークラ新潟 4階 コンチネンタル
新潟県新潟市中央区川端町6-53

参加方法：こちらのリンクまたはQRコードからご登録をお願いいたします。
<https://mbv.or.jp/symposium/>

申込期限：9月22日(日) 締切(定員 200名)

総司会：伊勢 みずほ 様 (フリーアナウンサー)

【開会挨拶】 13:00～13:10

櫻井 悟郎

シーメンスヘルスケア株式会社 代表取締役社長

【ご来賓挨拶】 13:10～13:25

中村 洋心 様

新潟県福祉保健部長

井崎 規之 様

新潟市副市長

高見 真二 様

長岡市副市長

第一部【CT共同利用による地域医療改善】 13:25～14:00

演者1：CT最新技術情報

シーメンスヘルスケア株式会社

演者2：富山 憲幸 先生

大阪大学大学院医学系研究科・医学部 放射線統合医学講座 放射線医学 教授

演者3：村上 卓道 先生

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 放射線医学分野 教授

<ご休憩>

第二部【地域を超えた、地域医療】パネルディスカッション 14:10～14:55

富山 憲幸 先生

大阪大学大学院医学系研究科・医学部 放射線統合医学講座 放射線医学 教授

村上 卓道 先生

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 放射線医学分野 教授

大塚 清一郎 様

新潟日報社 執行役員 論説編集委員

澁谷 裕之 先生

医療法人メディカルビットバレー 理事長

【閉会挨拶】 14:55～15:00

古川 國久

シップヘルスケアホールディングス株式会社 代表取締役会長

主催：地域医療シンポジウム実行委員会

共催：新潟日報社/BSN新潟放送/クロスウィルメディカル㈱/シップヘルスケアホールディングス㈱/シーメンスヘルスケア㈱

協賛：第四北越銀行



※お申込み多数の場合、抽選とさせていただきます。

*共催各社と上記登壇者は本シンポジウムの趣旨に賛同し参加いたします。